

# スマホカメラで稼ぐ

知らないと損する！

「趣味」を収入源にする「ストックフォト」の話

20代怠け者

# はじめに …そのスマホカメラが、お金を生み出す道具になる！

今や誰でも持っているスマートフォン。

2018年現在で、日本人のスマートフォン所有率は79.4%を越えています。ということは、5人中4人は必ずスマホを持っているということになります。

そして、これらスマホに必ず付いているのがカメラです。

実は、このスマホカメラを使ってお金を稼ぐことができることをご存知でしょうか？

**ぼくは Apple 製のスマートフォン「iPhone SE」のカメラを使って撮影した写真で、かつて数百ドルを実際に稼ぎました。**

**そして、過去にスマホカメラで撮影した写真たちは、現在進行系でお金を稼いでくれています。**

実際にぼくがスマホカメラで撮影した写真で、現在も定期的に売れ続けている写真たちのうち、ほんの一部をご紹介します。

## ニュージーランド北部の都市 「ギズボーン」の町並み



ダウンロード数

23回

総収入額

10.95ドル  
(1228円)

# 東京都・豊洲の 運河と遊歩道、そして高層ビル群



**ダウンロード数**

9回

**総収入額**

6.68ドル  
(749円)

## 鹿児島県・屋久島の海岸線



ダウンロード数

18回

総収入額

9.66ドル  
(1083円)

## インドネシア・バリ島 中部の街「ウブド」の散歩道



ダウンロード数

14回

総収入額

3.58ドル  
(401円)

かつて J-PHONE から発売された携帯電話にカメラが搭載されるようになり、「写メール」という言葉が生まれました。 当時は携帯電話で撮影することを「写メる」と呼ばれたものです。 (今でも?)

当時のカメラの性能はとても低く、紙に書いたメモを撮影しても読み取るのがやっと…といった程度でした。

それから携帯電話のカメラは徐々に性能が向上し、やがて折りたたみ式の携帯電話からスマートフォンに進化していく過程で、カメラの性能は飛躍的によくなっていきました。

今や、小さなデジタルカメラと同性能か、場合によってはもっと上の性能を持つスマホカメラも登場しています。

誰でもスマホカメラを持っている時代とは、言い換えれば誰でも高性能なカメラを持っている時代でもあるのです。

そして、更にいえば、このスマホカメラを使いさえすれば誰でもお金が稼げる時代が到来しているのです。

**さて、この書籍ではスマホカメラを使ってどうやって稼いでいくのか、その仕組みと方法を具体的にご説明していきたいと思います。**

いったい「スマホカメラで稼ぐ」とはどういうことなのか？ まずはそのシステムについて。 そして、稼げる写真をつくる・撮影するための方法とコツについて、順を追って詳しくご説明していきますね。

誰でも持っているスマホカメラを活用するかしないか、それはあなた次第です。

フェイスブックで楽しそうな写真をシェアしたり、オシャレな写真をInstagramにアップしたりするだけでは、お金は稼げません。

**写真を撮ることを楽しみつつ、一緒にお金も稼ぐ。**

現代型の副業であるこの「スマホカメラで稼ぐ」ことに、ぜひチャレンジしてみてください！

それでは、その世界を詳しくみていきましょう。

ご参考までに、それではどうぞ！

※この書籍では、スマホカメラで稼ぐ方法についてフォーカスしています。しかし、ここに掲載している内容は一般的な一眼レフやミラーレスカメラでも実現可能な内容ですので、同様に「カメラで稼ぐ方法」のご参考にしていただけると幸いです。

※また、この書籍では写真を多く掲載しています。写真の見栄えについての解説なども含んでいますので、この書籍を読まれる際はカラー表示できる端末でお読みいただくことをオススメいたします。

1章 ストックフォトってなんですか？ 10

---

ストックフォトは「写真素材」を販売するためのサービス	10
ストックフォトのメリット①：自動的に稼いでくれるコンテンツになる	19
ストックフォトのメリット②：言語の壁を越えて、世界中がお客様になる	22
写真だけでなく、イラストも販売できる！	25
ストックフォトなら動画も販売できる	30
ストックフォトにはこんなサービスがあります	32

2章 スマホカメラの写真を売るための条件 42

---

承認される写真の条件	42
写真に対する権利	52
エディトリアル写真とは？	54

3章 承認される写真をつくる方法 58

---

いざ、写真を撮ってみよう	60
「撮って出し」から編集しよう	65
写真を美しくするスマホアプリ	70
ストックフォトに投稿してみる	79

4章 ストックフォトで売れる写真を撮るコツ 105

---

必ずしも「アートな写真」は必要ではない！？	106
よくダウンロードされる写真素材の傾向	109
どんなときでも撮影しよう	116
アイデア次第で写真素材は無限に生み出せる	118
どんなものが売れるのか、他の投稿者を参考にしてみる	122

おわりに 126

---

掲載写真クレジット	130
【著者】20代怠け者	131
20代怠け者の運営する2つのブログとポートフォリオ	133

# 1章 スtockフォトってなんですか？

## ストックフォトは「写真素材」を販売するためのサービス

ストックフォトというサービスがあります。

ストックフォトとはもともと、ニュースやブログ記事、本に掲載するための写真などをまとめた素材集のことを意味します。

これが現在では、写真素材などをインターネット上で販売するサービスとして「ストックフォト」と広く呼ばれるようになりました。

**この書籍では、このストックフォトにてスマホカメラで撮影した写真を販売することで、収益を稼ぐということを目指しています。**

たとえば、新聞に掲載する写真を想像してみてください。

アメリカの新聞社が、東京・渋谷のスクランブル交差点の写真を掲載したいと思ったら、何をすればよいでしょうか？

まず新聞社のカメラマンを飛行機に乗せて、日本まで移動させ、現地で写真を撮影する…というのが正攻法のやり方です。

しかし、これではかなりの手間と時間がかかりますよね。移動にかかる交通費はもちろんのこと、カメラマンの人件費もかかりますし、何より撮影が完了するまでの時間がかかります。

今すぐ記事を書きたい！ そのための写真をほしい！ という人たちにとって、この正攻法のやり方では非常に面倒で、コストもかかってしまうわけです。

そこで登場するのがストックフォト。

ストックフォトに登録されている写真は、1枚単位で簡単に購入することができます。

先程の例でいえば、アメリカの新聞社はわざわざカメラマンを渋谷に派遣することもなく、渋谷のスクランブル交差点の写真を購入(ダウンロード)してしまえば、それで済んでしまうのです。



こうしたストックフォトに登録されている写真は、実に色んな種類にわたります。

- ・ 風景の写真
- ・ 食べ物・飲み物の写真
- ・ 小物の写真
- ・ 町中や建物の写真
- ・ 季節のイベントの写真
- ・ 人物の写真
- ・ ビジネスシーン・現場の写真
- ・ 特定のコンセプトを表した写真
- ・ 喜怒哀楽を表した写真
- ・ 背景画像
- ・ イラスト素材
- ・ アイコン素材

ビジネスの交渉事に関する記事やニュースなどで使いたい写真があれば、ストックフォトにて「**ビジネス 交渉**」と検索するだけで、その目的に沿った写真がすぐに見つかります。

食べ物の写真だって、その名前で検索するだけ。 写真を用意するために、わざわざ料理を作ったりする必要はないのです。

もしサーモンの寿司の写真がほしいと思ったら「**サーモン 寿司**」で検索してみます。すると、なんとサーモンのお寿司だけで21万枚を超える写真素材がストックフォトにて販売されていました。



もちろん、この写真を撮影して、ストックフォトに投稿しているカメラマンという存在があります。

ストックフォトで販売されている写真がダウンロードされると、その写真のカメラマン(投稿者や寄稿者とも呼びます)に、購入金額の一部が報酬として入ってくるようになります。

これが、ストックフォトを使って稼ぐということです。

スマホカメラで撮影した写真をストックフォトに投稿して、その写真素材をそこで販売する。そして、ダウンロードに応じてお金を稼ぐという流れです。

# ストックフォト投稿者



写真素材を投稿



写真素材をダウンロード



# ストックフォト利用者

写真素材を購入



ダウンロード数に応じて報酬



報酬額は利用しているストックフォトサービスや、その写真の利用方法などによって様々ですが、1ダウンロードあたり**平均25～50円**ぐらいが一般的です。

しかし、時には1ダウンロードあたり4000円ほどの報酬が得られることもあります。

実際にぼく自身の例では、3枚同時に4000円の写真がダウンロードされ、たった一日だけで12000円もの報酬がぼくの手元に入ってきた…なんてこともありました。

日常生活を送っているなかで、皆さんは色々な場面・場所に出くわすはずですよ。渋谷のスクランブル交差点に行くこともあれば、美味しそうな料理をつくったりすることもあります。

家族旅行の楽しそうな写真でさえも、写真素材として販売することもできてしまいます。（もちろん、ご家族がモデルになってくれるならば、ですが）

日常生活の1場面をスマホカメラで撮影することで、それを写真素材として販売できます。もちろん、日常生活に限らず、旅行で訪れた場所の風景写真や出来事でもOKです。

どんな場面でも、撮影すれば写真素材になる可能性があります。

おそらく、みなさんが普段スマホカメラで撮影してツイッターやフェイスブック、インスタグラムにアップロードしている写真の中にも、写真素材として販売することができる写真があるかもしれませんね。

あとは写真素材として販売するか、それともしないかの違いです。

ブランドの商標権や個人の肖像権などを侵害していなければ、その写真の権利は自分自身にあります。 どうせなら、それらの写真を素材として販売して、お金が稼げれば一石二鳥ですよ。

## ストックフォトのメリット①：自動的に稼いでくれるコンテンツになる

もう1点、お伝えしておきたい重要なポイントがあります。

**それは、写真素材は一度アップロードすれば、継続的に稼いでくれる、ストック型のコンテンツであるという点です。**

ちょっと難しい言い回しをしてしまいましたが、写真素材は一度ストックフォトに投稿すれば、その写真素材はずっと継続的にそのストックフォトで販売されるようになります。

継続的に、そして自動的に稼いでくれるようになるというのがポイントです。

たとえば、有名な観光地の写真を投稿したとしましょう。この写真はストックフォト上で販売開始されてから24時間365日、世界中で販売されることになります。

この観光地へは1年中たくさんの方が訪れますので、その観光地の写真素材についても、1年中なにかしらの需要があります。

観光地の写真ならたとえばツアー会社がツアープランのページをつくるためにダウンロードするかもしれませんし、旅行ガイドブックをつくるために出版社がダウンロードしてくれるかもしれません。

そうした需要を満たす写真素材を投稿することによって、1枚の写真が月100～200円ほどを自動的に稼いでくれるようになっていく可能性があります。

**こうした写真を10枚、100枚、1000枚…と積み重ねていくにつれ、毎月5000円、1万円、ひいては10万円と、安定した不労所得に成長していくことになるのです。**

ストックフォトに写真を投稿するということは、時間単位での切り売りの副業ではなく、自分のために自動的に稼いでくれる「コンテンツをつくる」ということです。

1枚1枚が1ヶ月に稼いでくれる金額は実際たかが知れています。しかし、写真は何百枚、何千枚と同時に販売することができます。そして、1枚1枚が、小さいながらも継続的にお金を稼いでくれるのです。

手間はかかります。しかし、やればやるほど確実に収入に、不労所得に結びついてくれるのがストックフォトなのです。



1枚1枚は小さな額しか稼げない写真でも...



**積み重ねて同時に販売していけば  
大きなストック型コンテンツとなる！**



## ストックフォトのメリット②：言語の壁を越えて、世界中がお客様になる

ストックフォトで販売されるのは写真素材です。写真は、言語の壁を越えることができます。

一般的に、海外とビジネスをするためには、まず言語の壁を乗り越える必要があります。最低限、英語が満足に使いななければ、そもそも異なる言語圏の人たちとビジネスの会話をするすらできません。

しかし、ストックフォトではコンテンツとなるのは写真であり、写真は言語の壁を飛び越えることができます。

たとえば日本国内で撮影した夏祭りの写真。

この写真を世界規模で販売しているストックフォトサービスに投稿すれば、日本人でもアメリカ人でも、フランス人でもドイツ人でも、自由に写真を購入することができます。

日本にいながらにして、相手の言語を問わず、世界中のストックフォト利用者相手にビジネスができるということなのです。

実際、世界規模のストックフォトで写真を販売していると、色んな国・地域からダウンロードされます。

イギリスから東京オリンピックの会場の写真がダウンロードされたり、南アフリカからニュージーランド旅行の時に撮影した吊橋の写真がダウンロードされたり…なんてことが実際にありました。

自分がまったく意図していない国からも自分の撮影した写真がダウンロードされて、それが収入になる。

これは、言語の壁を越えた写真だからこそ、できることです。



**写真なら言葉の壁を乗り越えて  
全世界を相手にビジネスできる！**

## 写真だけでなく、イラストも販売できる！

さて、ストックフォトで販売できるのは、写真だけではありません。自分で書いたイラスト素材も、ストックフォトで販売することが可能です。

イラスト素材には、たとえばこんなものが挙げられます。

- ・キャラクターのイラスト
- ・動物や植物などのデッサン、スケッチ
- ・日常の場면을イメージしたイラスト
- ・漫画のコマ、吹き出し
- ・「誕生日おめでとう！」などのメッセージイラスト
- ・「半額セール」などのメッセージイラスト
- ・国や都市をイメージしたイラスト
- ・アイコン集
- ・Web ページの背景画像
- ・名刺やカードなどの素材



DIFFERENT  
EXPRESSIONS  
and POSE





Happy  
Birthday  
— To You —



THAILAND

もしイラストを書くのが得意だということであれば、このようなイラストを販売してストックフォトで稼ぐことも可能です。

アイデア次第では、写真素材よりも大きなオリジナリティのある素材をつくることができるため、大きく売れる可能性を秘めています。

この書籍はスマホカメラでの稼ぎ方に特化していますので、ここではイラストの作成や投稿については割愛していますが、もし「写真は得意じゃないけど、イラストならやれそうだ」と感じたのであればこれはチャンスです。ぜひ躊躇せず、チャレンジしてみてくださいませ！

## ストックフォトなら動画も販売できる

また、ストックフォトでは動画の販売も可能です。

動画の販売はビデオ作品ではなくフッタージ(Footage)、つまり数十秒の短い動画素材としてストックフォトで販売されます。

一般的には15秒～30秒くらいの短い動画を素材として販売しているパターンが多いです。

ストックフォトで販売されている動画素材には、このようなものが挙げられます。

- ・ 風景の動画
- ・ 人物の喜怒哀楽や生活風景
- ・ ビジネスシーンの動画
- ・ 町中の移動中の風景
- ・ スローモーションの動画
- ・ 動物の動画
- ・ アニメーション
- ・ イベントの動画
- ・ ぼかし動画
- ・ タイムラプス動画
- ・ ドローンの空撮動画

ある意味、これらは写真素材として挙げられるものとほとんど同じテーマが使えるはずです。

特定の風景の写真を撮影して素材化するのも良いですし、その風景での「動き」も含めて、動画素材とするのも良いですね。

先程の例ならば、渋谷のスクランブル交差点の写真を撮影しながら、そのスクランブル交差点を行き交う人達を撮影してみる…などですね。

動画のダウンロードによる報酬額はとても高額です。一般的に、写真1ダウンロードのなんと100倍近くの報酬が貰えます。

**実際、写真の1ダウンロードでは25円ほどだったのに対して、動画が1ダウンロードされるだけで2500円が入ってきた、なんてこともありました。それも、iPhoneのカメラで撮影した動画です。**

(ちなみに、その動画は東京・豊洲新市場の周辺を撮影した、数十秒の短い動画でした。)

動画素材の投稿は、写真よりも撮影や編集などで手間と苦勞が伴いますが、それだけの価値はあるはずですよ。

## ストックフォトにはこんなサービスがあります

さて、一言にストックフォトと言っても、色んなサービスがあります。

完全に報道機関向けに行っているストックフォトもあれば、一般のニュースサイトやブログ向けのストックフォトなどがあります。

海外向けのストックフォトや、国内を専門に扱うストックフォトなど。それぞれのストックフォトによって売れやすい写真の傾向や報酬額も異なります。

この書籍では、主に以下の3つのストックフォトサービスについてご紹介していきます。

- Shutterstock
- Fotolia (Adobe Stock)
- PIXTA

これら3つのストックフォトは、すべてスマホカメラでの写真投稿が可能です。

**Shutterstock** は、ストックフォトでは最大手のサービスです。

**販売の対象国は150カ国。** これら3サービスの中では圧倒的な販売範囲で、世界中の利用者を顧客とすることができます。

利用者数が多い分、ダウンロードされる頻度がとても高く、写真を投稿して一番「売れている実感が湧く」のがこのサービスです。よくダウンロードされるということは、継続するモチベーションの維持につながります。

しかし、報酬額は3サービスの中では一番低く、1ダウンロードあたり0.25米ドル(25~27円)です。薄利多売、というイメージがピッタリです。

また、報酬を米ドルのまま受け取れるというのも1つの特徴です。世界の基軸通貨である米ドルで受け取れる、つまり外貨を稼ぐ手段にもなるということですね。

画像▼

動画

音楽

エディトリアル▼

ブログ

ツール▼

🌐 日本語▼

料金設定 [▶](#)

ログイン

shutterstock

すてきなストーリーがここから始まります。

ストック画像、動画、音楽など、23100万点におよぶロイヤリティフリーの素材を利用できます。

ストック画像、ベクター画像、動画、音楽を検索



全画像▼



Autumn forest 寄稿者: Sjarhei Dzmitryienka

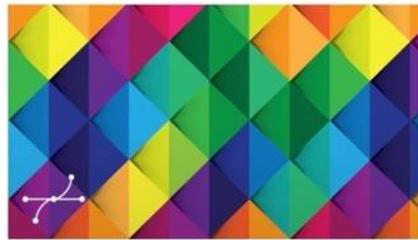
秀逸なコンテンツ、わかりやすい料金設定 [プランを確認 ▶](#)

魅力的なコンテンツを見つけて、プロジェクトで利用



### 写真

プロによるさまざまなストック写真を利用できます。毎日数千点が追加



### ベクター画像

ロイヤリティフリーのベクター画像を使って制作できます。品質を損なうことなく編集できる



### イラスト

魅力的なイラストやスケッチでよりクリエイティブに

**Fotolia**、および **Adobe Stock** は Adobe 社の提供するストックフォトサービス。

Adobe 社は、世界最大の写真編集ソフトである「Photoshop」を販売する企業としても有名です。

この Photoshop から直接写真素材をダウンロードできるなど、Adobe 社のソフトウェアを利用しているユーザーが便利なストックフォトサービスであるといえます。

Adobe 社のソフトウェアと連携して使えるという面から、背景などのグラフィック素材の写真が多くダウンロードされていく傾向にありますね。

販売の対象国は 2 3 ヶ国です。 Shutterstock と比べるとかなり販売範囲が狭まりますが、1 ダウンロードあたりの単価はもう少し高く、38 円ほどになります。

そして時折、1 ダウンロードあたり 1000 円～2000 円以上の高額ダウンロードが発生することもあります。 比較的、他のストックフォトよりも高額ダウンロードされる頻度が高いのも、Adobe Stock の特徴です。



# クリエイティブ制作に最適な素材を見つけましょう

すべて



検索



提供: kikovic

10 点の Adobe Stock 画像を無償でご利用いただけます。

今すぐ開始

厳選されたアセットのご紹介

**PIXTA** は、日本発のストックフォトサービスです。

2018年現在では、日本ではもちろんのこと、英語圏の各国、中国、韓国、タイなどの国向けにも販売されています。 PIXTA では、日本語版サイトにアップロードすることで、自動的にこれらの国々向けにも販売が開始されるようになっています。

**しかしながら元々は日本発のストックフォトサービスですので、全体的に日本向けに特化した素材が多く、日本人モデルや日本語の写真・イラストなどが多く手に入るのが特徴です。**

そしてもちろん、日本人向けの素材(日本語の文字が使われている、など)がよくダウンロードされる傾向にあります。

1ダウンロードあたりの単価は27円ほどです。 単価が特別高いということもないので、現時点ではいかに日本人向けに特化した写真素材を提供できるかがカギですね。

また、日本語での写真素材投稿ができるというのも特徴です。 Shutterstock や Adobe Stock の場合、海外向けのサービスということもあり、写真の説明書きなどは基本的には英語で記載することになります。

各サービスとも画面は日本語対応していますが、投稿者向けのヘルプページなどの詳しい情報は英語表記のままになっている場合もあるので、ライティングとリーディング、つまり簡単な読み書きの英語スキルは必須です。(とはいえ、中学生・高校生レベルで大丈夫ですよ。)

その反面、PIXTA は日本発のストックフォトサービスなので、すべて日本語で利用可能です。 どうしても英語力に不安がある…という場合は、PIXTA を利用することになりそうです。

33479192 | Photo by はりるく

キーワードまたは素材ナンバーで検索

写真・イラスト



画像ならPIXTA！ 3,570万点以上の写真素材・イラスト素材・動画素材・音楽素材をご用意



BGMや効果音がPIXTAで購入できます  
TV・CM・スマホアプリ・  
ゲームに使える！

詳細はこちら



お得に使える定額プラン！  
年間契約などのサイズも  
1枚約39円から

詳細はこちら

無料素材もご利用可能に！

購入会員登録はこちら

素材を販売したい方はこちら

ここまで紹介した3つの主要ストックフォトサービスの単価や傾向をまとめてみました。こちらをあわせてご参考ください。

	Shutterstock	Fotolia (Adobe Stock)	PIXTA
1ダウンロード あたりの報酬額	25～27円 (0.25ドル)	38円	27円
販売の対象国	150ヶ国	23ヶ国	日本、英語圏、 中国、韓国、タイ
報酬の 受け取り通貨	USドル	日本円	日本円
傾向	世界中を相手に 写真が売れる	グラフィック素材 がよく売れる	日本人向け素材に 強い
スマホカメラ の投稿	OK	OK	OK
非営利写真 の販売 (エディトリアル)	OK	NG	NG



## 2章 スマホカメラの写真を売るための条件

### 承認される写真の条件

さて、この章ではどのようにスマホカメラの写真を販売していくのかについて、少しずつ解説していきたいと思います。

まず、ストックフォトで写真を販売するためには、主にこの2つのプロセスを踏む必要があります。

- ・投稿者として登録する
- ・写真を投稿して、承認してもらう

まずは投稿者(カメラマン)として、ストックフォトにアカウント登録します。

通常、ストックフォトでは写真をダウンロードする利用者用のアカウントと、それとは別に写真をアップロードする投稿者用のアカウントの2種類があります。

- ・利用者用アカウント
- ・投稿者用アカウント

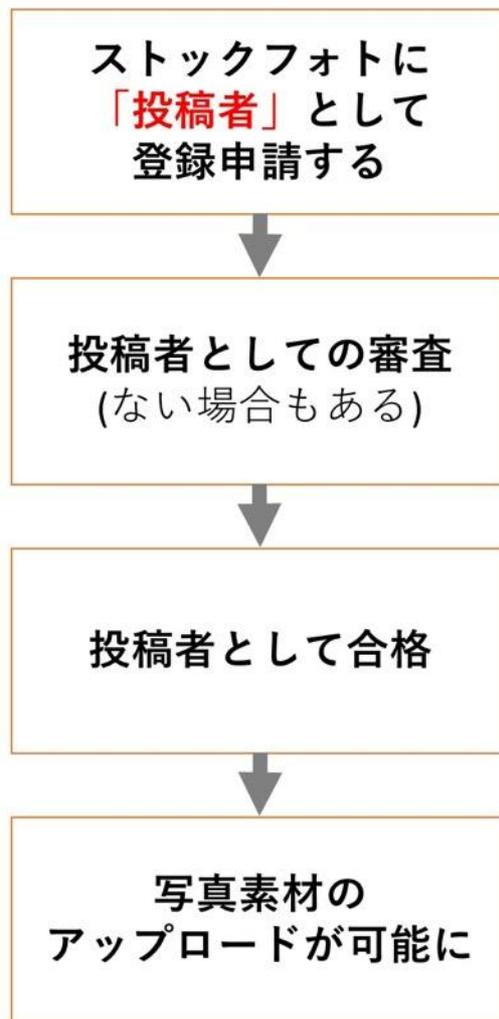
ストックフォトで稼ごうという人が登録するのは、もちろん投稿者用アカウントです。

投稿者として登録する場合、免許証やパスポートなど、身分を証明するものが必要です。

**また、ストックフォトによっては、登録時に「カメラマンとしての実力があるか」の審査がある場合もあります。**

その場合は、撮影した写真を10枚ほど提出して、「これだけの写真が撮れますよ」というのを伝えることになります。この審査に合格したら、晴れて投稿者として認められるというわけですね。

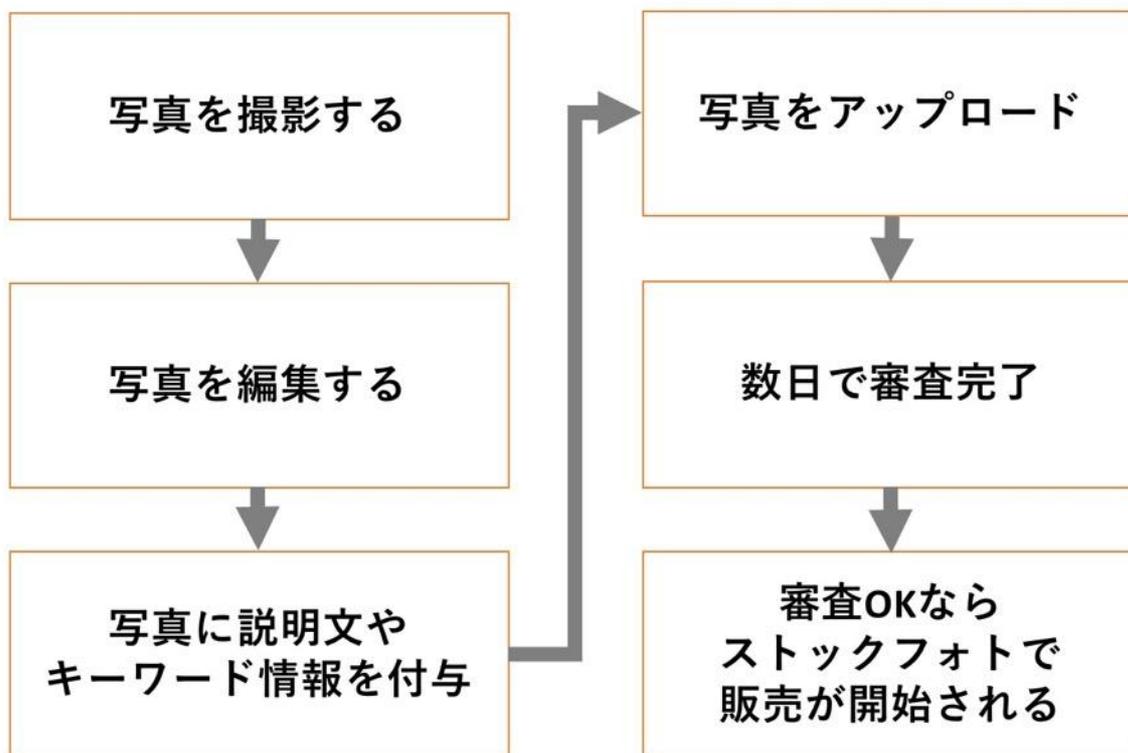
## 【ストックフォトへの登録の流れ】



いざ投稿者となったら、いよいよ写真素材を投稿していきます。そしてここでも、写真素材1つ1つを審査されることになります。

販売に適したサイズとなっているか、ピントがズレていないか、ノイズがないか…などをストックフォトの審査員が審査したうえで、OKだと判断されれば晴れて写真素材がストックフォト内で販売開始されるというわけですね。

## 【写真素材投稿の流れ】



写真を投稿するたびに  
上記の作業をする必要あり

さて、写真素材には一定のクオリティと、写真ファイルの技術的な基準を満たしていることが求められます。

その基準はストックフォトサービスによって多少異なりますが、一般的には下記の基準をクリアーしている必要があります。

- ・写真ファイルが JPEG 形式であること
- ・写真の解像度(サイズ)が4メガピクセル以上(2448×1632)であること
- ・ノイズやフォーカス、ピントのズレがないこと
- ・自分自身に写真の著作権があること
- ・他者の商標、知的財産権、肖像権などを侵害していないこと

**写真ファイルの技術的な基準であるファイル形式と写真サイズについては、現在のスマホカメラであれば簡単にクリアーできているはずです。**

世間一般で、写真に広く使われているのは JPEG 形式のファイルです。現在はほぼすべてのスマホカメラでも JPEG 形式で写真が保存されるようになっていますので、ここは OK です。

写真サイズの「4メガピクセル」とは、画素数で表すと400万画素のことを指します。

例として iPhone シリーズのカメラでの写真サイズと画素数を一覧にまとめてみました。2010年発売の iPhone 4以降であれば、この条件を軽くクリアーしています。

他の機種であっても、近年発売のスマートフォンであれば間違いなく余裕で400万画素をクリアーしているはずです。まずは一度、お手元のスマートフォンのカメラの解像度をチェックしてみてくださいませ！



	写真サイズ	画素数
<b>iPhone X</b>	4032 × 3024	1200万画素
<b>iPhone 8</b>	4032 × 3024	1200万画素
<b>iPhone SE</b>	4032 × 3024	1200万画素
<b>iPhone 7</b>	4032 × 3024	1200万画素
<b>iPhone 6</b>	3264 × 2448	800万画素
<b>iPhone 5</b>	3264 × 2448	800万画素
<b>iPhone 4</b>	2592 × 1936	500万画素
<b>iPhone 3GS</b>	2048 × 1536	300万画素

また、写真としてのクオリティも要求されます。

写真の被写体にピントが合っていない、被写体がボケている、などの場合、目視での審査時に落とされてしまう場合があります。

写真にノイズが乗っている場合なども、審査時に落とされる場合が多くありますね。

スマホカメラの場合、暗い場所や夜間などに撮影した写真にはノイズが多く乗ってしまう場合が多いので、夜間の写真などは要注意です。

これらピントやノイズなどについては、結局のところスマホカメラの性能に左右される場合が多くあります。

カメラ性能は新しい機種の方が高い傾向にありますので、可能であれば最新機種を使って撮影していく方が無難です。

性能上は現在のスマホカメラで充分戦えるとはいえ、高性能なカメラを使うことができるのであれば使うに越したことはありませんから。

	Shutterstock	Fotolia (Adobe Stock)	PIXTA
画像ファイル形式	JPEG, TIFF	JPEG	JPEG、PNG
画像解像度	4メガピクセル以上 (5メガピクセル以上を推奨)	4メガピクセル以上	長辺と短辺の合計が 1301px以上、 35000px以下  (300キロピクセル)
最大画像ファイルサイズ	50MBまで	45MBまで	50MBまで
説明文 キーワード入力	英語のみ	日本語、英語	日本語、英語
非営利写真の販売 (エディトリアル)	OK	NG	NG

## 写真に対する権利

そして、一番重要なのが投稿する写真に対する権利を持っているかどうか、です。

当然ながら、投稿する写真に対する著作権を自分自身が保有している必要があります。

写真素材の中に特定のブランドの看板などの、商標が写り込んでいる場合、基本的にはストックフォトでは販売できません。

たとえば町中での撮影の場合、有名ブランドのロゴ…「コカコーラ」や「スターバックス」などのロゴが入り込む場合があります。 こうした場合は商標の侵害となるので、通常は投稿しても審査で弾かれてしまいます。

また、特定の人物が大きく写り込んでいるような写真、つまりモデル写真の場合はその本人の肖像権が発生しています。

これらの写真を投稿するためには「**肖像権の使用許諾書**」を写真と一緒に添付する必要があります。

肖像権の使用許諾書とは、その名のとおり、モデル本人の持つ肖像権を使って写真を販売しても良いですよ、という「モデル本人の許可」を得たことを示す書類のことです。（モデルリリースと呼ばれることもあります。）

この使用許諾書と一緒に提出されてはじめて、「この写真は肖像権の問題をクリアした写真だ」として、ストックフォトで販売できるのですね。

この使用許諾書には、そのカメラマンとモデルの情報(氏名や生年月日、メールアドレス、署名など)を記載する必要があります。

これがなかなか大変です。 モデル本人と、「この写真はストックフォトで販売するよ」という同意を交わしておく必要があるのですから。

ちなみに、モデル本人が未成年の場合は、保護者の署名も必要になります。

※ここでご説明している法的な内容は、ストックフォトでの一般的なものです。 ストックフォトのサービスによって、法的な解釈やルールが異なる場合がありますので、詳しくは各サービスのヘルプを必ず一読くださいませ。

## エディトリアル写真とは？

さて、特定のブランドの商標などが写り込んだ写真は、基本的にはストックフォトでは販売できないという話をしました。

しかし、いくつかのストックフォトでは「エディトリアル写真」という形で、特定ブランドの写真を販売している場合があります。

エディトリアル写真とはそもそも何でしょう？ 今回紹介している3つのストックフォトのなかで唯一、そのエディトリアル写真を販売している Shutterstock によると、エディトリアル写真(コンテンツ)をこのように定義しています。

「エディトリアル使用のみ」と表示された画像や動画素材は、ニュースバリューや社会的関心のある情報や記事に使用されます。該当するコンテンツは、いかなる場合でも商業目的に使用することはできません。この方針は、非営利組織にも適用されます。

エディトリアルコンテンツは以下の目的で使用することができます。

- ・ ニュース記事
- ・ ノンフィクション書籍
- ・ ドキュメンタリー記事
- ・ その他のニュースバリューのある情報

エディトリアルコンテンツは以下の目的では使用することができません。

- ・ 公告
- ・ 商品販売
- ・ 包装パッケージ

・その他の商業目的または販売促進目的

[\(Shutterstock サポート「エディトリアルコンテンツの使用目的」より引用\)](#)

**これらを一言で表すと、エディトリアル写真はニュースや報道、ドキュメンタリーなどの用途に限定している写真ということです。 逆に広告や商用などの目的で使うことはできません。**

ニュースなどの記事、たとえばスターバックスに関するニュースなどの記事を作成する際に、ストックフォト内にて販売されているスターバックスのエディトリアル写真を使うことができるということです。

エディトリアル(Editorial)という単語自体には「編集者」「社説」という意味がありますが、ストックフォトではエディトリアルとは「報道写真」を表す意味で覚えておくのが、わかりやすいでしょう。

こうしたエディトリアル写真の販売をしているストックフォトであれば、有名ブランドのロゴが含まれた写真、ロゴ自体の写真であっても販売をすることが可能です。

投稿者側の立場からすると、投稿できる写真の幅が格段に広がります。

たとえば「YouTube の動画をスマートフォンで見ている男性」という写真を撮影して素材化すれば、そうしたシーンをイメージしたニュースや報道記事などで使えるエディトリアル写真となります。

もちろん、エディトリアル写真であってもダウンロードによって報酬が得られます。基本的には、一般の写真素材と同額の報酬を得ることが可能です。

写真のアイデアの幅が広がる、投稿できる写真の幅が広がるという点では、エディトリアル写真が投稿できるストックフォトの方が格段に有利ですね。



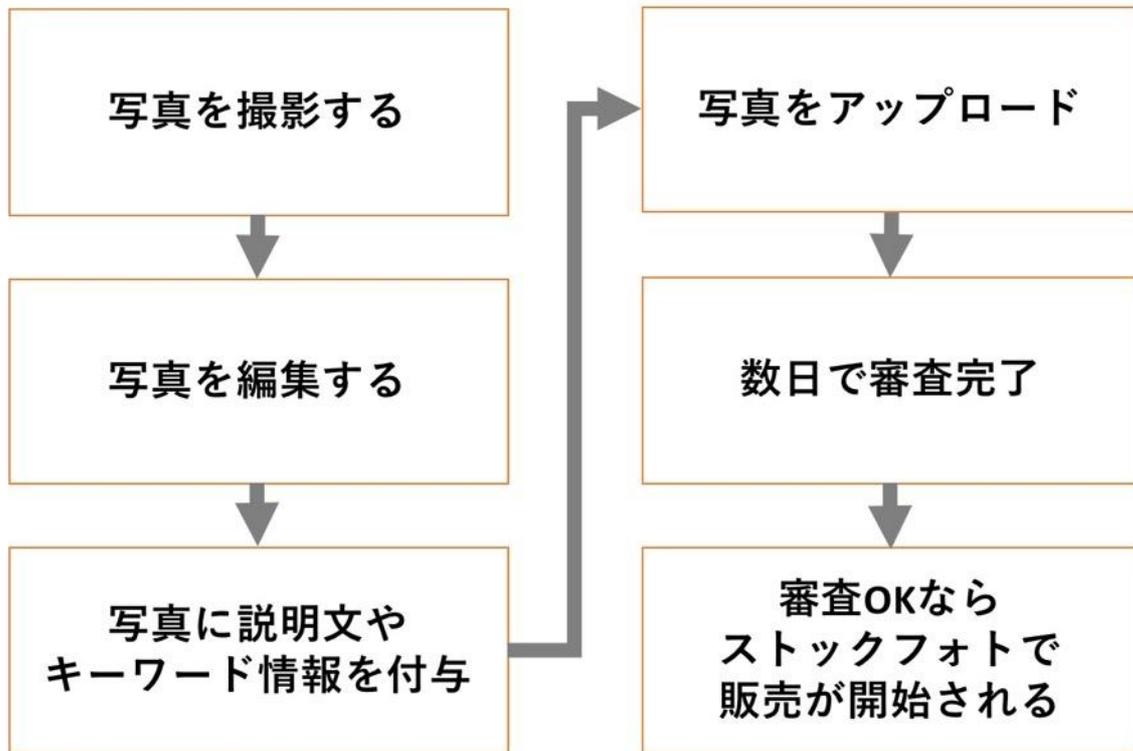
### 3章 承認される写真をつくる方法

さて、この章では実際にどうやってスマホカメラを写真素材としてアップロードしていくのか、そのあたりの全体的な流れやイメージについて、ご説明していきますね。

すでにご説明したとおり、ストックフォトにはいくつかのサービスがあります。

それぞれのシステムや承認の基準などは異なりますが、基本的な仕組みとしては前章でも紹介したように、このような流れで写真をアップロードしていくこととなります。

## 【写真素材投稿の流れ】



写真を投稿するたびに  
上記の作業をする必要あり

## いざ、写真を撮ってみよう

当然、まずは写真を撮影するところからはじまります。

ここで撮影する写真・場面・対象は何でも OK です。 前の章でご紹介したように、風景の写真、食べ物・飲み物の写真、などなど。

過去に撮影した写真でも良いでしょう。 スマートフォンに保存されている写真のなかで、写真素材として使えそうな写真があれば、それを利用してストックフォトにアップロードしていきます。

たとえば旅行先で、綺麗な風景を撮影した写真や、何気ない町中の 1 シーンを撮影した写真など、きっとスマートフォンの中にあるはずです。

これから撮影するのであれば、なにかテーマを決めて 10～20 枚ほど、色んなアングルから撮影してみましょう。

自宅で手作りのパンケーキをつくったのであれば、そのパンケーキを色んな角度、色んなアングルから 10～20 枚ほど撮影していきます。

そのなかで、まずは自分が「出来が良い」と感じた写真を 5 枚ほどピックアップしてみましょう。

パンケーキであれば、フォークを添えたり、バターを乗せたりするなどして、1 回の調理でも色んなバリエーションの写真が撮影できますよね。

たとえばこちらの 3 枚の写真は、同じ投稿者による同じパンケーキの写真です。 しかし、それぞれアングルを変えて複数枚撮影しているため、それぞれ違う写真素材として販売できます。







あくまで投稿するのは「**写真素材**」です。

いったん、利用者側の立場に立って考えてみましょう。

「パンケーキの写真を使いたい」と思った時に、たった1枚のアングルの写真があるだけよりも、色んなアングルから撮影したパンケーキの写真があった方が、もっとも使いやすい写真・ふさわしい写真を自由に選べるので便利ですよ。

そして、そうしたパターンの「幅」がある方が、ダウンロードされやすくなります。

ストックフォトでは、ある写真のページを開くと同じ投稿者の別のアングルの写真も一緒に表示されるようになりますので、そこから利用者の求める写真をダウンロードしてくれる…という流れもできあがります。

1つの撮影対象につき、最低でも5枚ぐらいは異なるアングルの写真を用意しておきたいところです。

## 「撮って出し」から編集しよう

続いて、撮って出しの写真を編集・加工していきます。

「撮って出し」とは、撮影したままの写真で、何も編集していない状態の写真のことです。

実際のところ、この撮って出しの状態の写真でもストックフォトの基準、画像サイズや解像度などの基準はクリアされていますので、そのままアップロードしてしまっても問題はありません。

**しかし、基本的には撮って出しをそのまま投稿するのではなく、写真を編集・加工してから投稿するのが良いでしょう。**

ストックフォトに投稿されている数々の写真素材は、これらのパラメータなどを変更して、写真そのものの見栄えを更によくしたのちに投稿されているものがほとんどです。

- ・明るさ、コントラスト
- ・彩度
- ・黒レベル、白レベル、ガンマ
- ・シャープ化、ぼかし化
- ・トリミング
- ・フィルター
- ・HDR

また、実際の人物モデルの場合は、モデルの顔や体型などを補正することも、写真素材の編集の1つですね。 俗に言うフォトショ修正というやつです。

なぜ、編集した方が良いのか。

それは単純に、素材として販売する際の見栄えの問題です。

素材であるとはいえ、やはり写真である以上はキレイな写真が好まれます。 売れ行きの上位の写真を見ても、見栄えが整えられたキレイな写真が占めています。

スマートフォンのカメラの性能も上がってきているとはいえ、撮影専用の機材である一眼レフやミラーレスのようなカメラと比べると性能・画質ともに劣っているのが実情です。

ストックフォトではそうした高性能なカメラで撮影されていて、更には魅力を最大限に引き出す加工をしているものがほとんどです。 スマートフォンのカメラの撮って出しの写真では、これらと戦うのは分が悪いといえます。

最低限、色合いの編集をするなどして見栄えを整えた方が、目立つしダウンロードされる可能性も高くなる。 というわけですね。

たとえば、こちらはニュージーランドの「ウェカ」という飛べない鳥を iPhone で撮影したものです。 1枚目が撮って出しで、2枚目が編集後です。





撮って出しの1枚目では、逆光気味のためウェカの顔や身体がよく見えません。この状態で投稿して承認されたとしても、ウェカという鳥の雰囲気はわかりづらいので、写真素材としては少々不向きです。

そのため、編集後の2枚目では暗くなってしまっていたウェカの身体がもう少し見やすくなるよう、明るさやコントラスト、ガンマ値などを補正しています。

加えて、ちょっとレトロな色合いにしたことで、自然の中の一幕的な雰囲気も出してみました。

もちろん、人の好みはそれぞれ違いますが、どちらの方が「ウェカ」という鳥を表す写真素材としてふさわしいかといえば、2枚目であると思います。

このような形で、他にもたとえば青空の色を鮮やかにして明るい風景に編集するなど、写真素材の持ち味を活かすような色合いに加工するなどの編集は、ストックフォトで写真を販売していくうえでは必要不可欠です。

しかし、写真素材の目的次第では、撮って出しの写真でも充分実用に耐える場合もあります。

ここでもあくまで利用者側の立場になって考えてみて、「撮って出しの写真が良いか」「それとも、もっと彩度がハッキリした写真が良いか」「レトロなフィルターがかかった写真の方が良いか」を考えて、編集するかどうかを決定するのが良いでしょう。

## 写真を美しくするスマホアプリ

さて、こうした写真を編集するためのアプリですが、iPhone・Android 共に便利なツールが多く揃っています。

以下3つは無料で利用可能、かつ高性能な写真編集が気軽にできるのでオススメです。

- ・ Photoshop Express
- ・ Snapseed
- ・ インスタグラム

**Photoshop Express** は、その名の通り Adobe 社が販売する「Photoshop」のスマートフォン・アプリ版です。

通常の Photoshop は有料のソフトウェアですが、アプリ版は無料で利用可能です。

流石に通常の Photoshop ほどの高機能はありませんが、写真の簡単な加工・編集には必要十分な機能が備わっています。

操作感もアプリ向けに最適化されているので、通常の Photoshop のような高度な編集はできませんが、それがかえって初心者でも簡単に操作可能になっていますね。

[iPhone 版 Photoshop Express のダウンロード](#)

[Android 版 Photoshop Express のダウンロード](#)



クラシック



カラフル



トワイライト





○ Auto

明るさ      カラー      効果      詳細



色合い

自然な彩度

彩度



T

**Snapseed** も無料で使える写真編集アプリです。

こちらはエフェクト主体の編集アプリです。 シンプルなレイアウトとシンプルな操作で編集が可能な点が、メリットであるといえますね。

一度設定したエフェクトの加工は保存しておけるので、同じ写真を同じ雰囲気です複数枚編集するのに重用します。

[iPhone 版 Snapseed のダウンロード](#)

[Android 版 Snapseed のダウンロード](#)



Accentuate

Faded Glow

Morning

Bright

Fine Art



彩度 0



明るさ -8

コントラスト 0

彩度 0

アンビエンス 0

ハイライト 0

シャドウ 0

色温度 0

0

0



最後の**Instagram**は、もともとこれ単体が写真共有の SNS サービスです。 簡単な操作で、雰囲気のある写真に加工してそのまま共有できるという点が評価されて、世界中で幅広く使われています。

このInstagram、アプリの写真編集機能もお手軽ながら温かい雰囲気の写真に一発で加工できるので、これもあわせて使うと面白いです。

先ほど紹介したニュージーランドの鳥の写真は、実はInstagramで編集・加工したものです。

通常、Instagramは編集した写真はそのまま投稿されてしまいますが、スマホを機内モード(インターネット通信が出来ない状態)にしておくと、編集した写真はスマホ内に保存されるだけで、投稿されることはありません。

この機能を使えば、Instagramをある意味で写真編集アプリとして利用することも可能ということですね。

[iPhone 版 Instagramのダウンロード](#)

[Android 版 Instagramのダウンロード](#)



次へ



Hudson

Rise

X-Pro II

Lark



フィルター

編集

# 彩度



74



キャンセル

完了

## ストックフォトに投稿してみる

写真素材が準備できたら、いよいよ投稿です！

今回は、スマートフォン上でそのまま写真素材をアップロードできる Shutterstock で、写真素材を投稿するところまでを軽くご紹介したいと思います。

※投稿者アカウントの初期登録などは、ストックフォトサービスによって大きく異なるため、詳しい説明は省いています。あくまで、写真素材の投稿のイメージを掴んでいただければ幸いです。

※また、スクリーンショットは書籍執筆時のものであり、レイアウト等が変更となる場合があります。

Shutterstock では、投稿者向けのアプリ「**Shutterstock Contributor**」を提供しています。 (2018年現在、言語は英語のみ対応)

このアプリでは、写真素材の投稿から承認・非承認の確認、写真の売れ行きの確認まで、投稿者向けに必要な機能一式がスマホ画面上で利用できます。

また、いざ写真素材がダウンロードされると、その通知もスマートフォンに届くようになるので、投稿のモチベーションアップにもつながるため、なかなか面白いですよ。

[iPhone 版 Shutterstock Contributor のダウンロード](#)

[Android 版 Shutterstock Contributor のダウンロード](#)

(アプリの利用には Shutterstock の投稿者用アカウントが必要です。)

さて、それではこの Shutterstock Contributor を使って、実際に写真素材をアップロードしてみましょう。

こちらがアプリのトップ画面。

「**Upload Images Now**」をタップすると、スマホで撮影したカメラの一覧が表示されます。ここから、投稿する写真を選んでいきましょう。



Submit

Select



## Your Submissions

Submitting images is easy. Just upload straight from the app, add the metadata, and submit.

Upload Images Now



Activity



Earnings



Submit



More

選択が完了すると、自動的に Shutterstock へのアップロードが開始されます。

写真素材が複数枚あれば、複数枚を同時に送信可能ですよ。



Submit

Select



#1239651211

17% completed



Activity



Earnings



Submit



More

アップロードが完了すると、このような表示になります。

続いて、写真に説明文やキーワードを追加していく作業が必要です。 アップロードされた写真をタップしましょう。



Submit

Select



#1239651211

Please enter a description...



0 Keywords, 0 Categories



Activity



Earnings



Submit

1



More

こちらが、写真に説明文やキーワード付け(タグ付け)をしていく画面です。



DESCRIPTION 200

Please enter a description for 1 item...

KEYWORDS 0/7 (Max 50)

Cancel

Editing 1 Item

Save

CATEGORIES

1 (Max. 2)

Animals/Wildlife

ADDITIONAL INFO

Editorial

Illustration

Adult

RELEASES

Attach releases...

ACTIONS

Submit



Activity



Earnings



Submit



More

写真素材を投稿するうえで必要となる入力事項は以下のとおりです。

- ・ **DESCRIPTION** : 写真素材の説明(英語表示)
- ・ **KEYWORDS** : 写真素材にかかわる単語を50個まで設定
- ・ **CATEGORIES** : 写真素材のカテゴリを設定 (風景、食べ物、ビジネス、イラスト素材など)
- ・ **ADDITIONAL INFO** : エディトリアルやイラスト素材、ヌード要素などがあるかどうかの設定
- ・ **RELEASES** : 写っているモデルの使用許諾書を添付

このなかで重要なのは **DESCRIPTION** と **KEYWORDS** です。

たとえば今回の写真の場合、ニュージーランドの鳥「ウェカ」の写真素材ですので、説明文(DESCRIPTION)は英語でこう表記しています。

「Close up Weka bird, at South Island of New Zealand」

Cancel

Editing 1 Item

Save



DESCRIPTION

150

Close up Weka bird, at South Island of New Zealand

KEYWORDS

0/7 (Max. 50)

Please enter at least 7 keywords...

CATEGORIES

0/1 (Max. 2)

Please select at least 1 category...



Activity



Earnings



Submit

1



More

英文の出来栄は置いておいて、説明文はわかりやすくシンプルな書き方で大丈夫です。

「メインの題材」「場所」といった情報を単語単語でシンプルに書いていくだけで、十分伝わるので問題ありません。

続いてキーワード(KEYWORD)です。

アップロードした写真から想定されるキーワードを登録していくことで、利用者がはじめてこの写真を検索して、そして見つけることができるようになります。

たとえば先ほどの写真なら、「**animal**」「**bird**」「**nature**」「**cute**」…といった単語が候補になってきます。

au 4G

12:26

98%

Cancel

0/7 Keywords

Done



30 suggested keywords



nature

animal

outdoor

summer

grass

field

bird

wild

sand

travel

man

cute

green

background

wildlife

meadow

blue

Type keywords...

**キーワードは最小7個以上必要ですが、なるべくなら最大の50個に近い数のキーワードを含めると良いでしょう。** 関係するキーワードは多ければ多いほうが、利用者の目的の写真に近づきやすくなるため、適切なキーワードを含めることは最重要作業です。

50個登録するのは大変ですが、Shutterstockのアプリの場合、写真を読み取って自動的に関連するキーワードを提案してくれる機能があります。

「suggested keywords」という部分から、関連するキーワードをタップしていただくだけで、どんどんキーワードを追加していけるので便利です。

Cancel 15 Keywords (Max.... Done



heaphy × island × kiwi ×

new zealand × south × track ×

weka × nature × animal ×

outdoor × summer × grass ×

field × bird × wild ×

22 suggested keywords



sand travel man cute green

background wildlife meadow blue

beautiful beach food tourism

ground sea ocean sky desert

Type keywords...

キーワードはたくさん登録したほうが良い…と言ってももちろん、写真に関するキーワードでないといけません。

無関係なキーワード(たとえば、東京の風景に「ロンドン」というキーワードを含めるなど)を入れたところで、ダウンロードされる可能性はかなり低いです。

そもそも、ロンドンの風景をダウンロードしたい利用者が東京の風景写真を見たところで、ダウンロードしてくれるはずもありませんよね。

「おっ、こっちの東京の写真もカッコいいな！」とダウンロードしてくれるはずもありません。その逆もまた同様です。

**これらはむしろ、検索の妨げになる可能性があります。** そういったキーワードスパムとも取れるようなキーワードの付け方はやめるべきでしょう。(現在はわかりませんが、いずれストックフォト内でペナルティを受けることになる可能性もあります。)

写真のカテゴリ(CATEGORIES)の登録も必要です。これは簡単で、事前用意されているカテゴリからふさわしいものを選択するだけです。

今回の写真の場合は「**Animals/Wildlife**」(動物/野生動物)が適切ですね。

au 4G

12:28

98%

Cancel Select Categories Done

Abstract

Animals/Wildlife

The Arts

Backgrounds/Textures

Beauty/Fashion

Buildings/Landmarks

Business/Finance

Education

Food and Drink

Healthcare/Medical

Holidays

最後に、追加の情報(ADDITIONAL INFO)を入力します。

前章でも紹介したエディトリアル写真として登録したいのであれば「Editorial」にチェックを、イラスト素材なら「Illustration」にチェックを入れましょう。

ヌードなどの要素が含まれる写真については「Adult」にチェックが必要です。

Cancel

Editing 1 Item

Save

KEYWORDS

25 (Max. 50)

animal, beautiful, bird, cute, desert, field, grass, ground, heaphy, island, kiwi, landscape, meadow, nature, new zealand, outdoor, sand, south, summer, tourism, track, travel, weka,

CATEGORIES

0/1 (Max. 2)

Please select at least 1 category...

ADDITIONAL INFO

Editorial



Illustration



Adult



Activity



Earnings



Submit

1



More

これらが完了して、ようやくストックフォトに投稿できます。

投稿が完了したら順次、ストックフォトが写真の審査に入ってくれます。 だいたい、1日～数日ほどの時間がかかります。

写真が承認されたら、このように「1 image approved」(1枚の写真が承認されました)という通知がスマホ宛に届きます。

非承認となってしまった場合は、その非承認理由が通知と一緒に書かれているので、それを元に再編集するなどの対策が可能です。

# Activity

1 image approved

Today



You sold 5 items on Aug 23, 2018

Today



Activity



Earnings



Submit



More

この時点で、写真素材は Shutterstock 上で実際に販売が開始されています！

あとは、この調子で投稿を繰り返して、どんどん写真素材をストックしていきましょう。



Added on Yesterday  
Total earnings \$0.00  
Total downloads 0



Activity



Earnings



Submit



More

shutterstock

ロイヤリティフリーのストック画像を検索



全画像▼



保存



S

M

L

サイズガイド

大 | 4032 px x 3024 px | 34.1cm x 25.6cm (300 dpi) | JPEG

別のサイズが必要ですか? [Editor](#)でサイズを変更 特別ライセンスにアップグレードする TIFF **12000**

- 配布部数/視認者数が500,000を超える屋外広告または印刷広告
- 販売商品、衣類、芸術作品での使用
- ウェブまたは印刷のデザインテンプレートでの使用

[ライセンスを比較](#)

ダウンロード

この画像を編集



寄稿者: slyellow

ロイヤリティフリーストック写真の素材番号: 1162300393

Close up Weka bird, at South Island of New Zealand



## 4章 ストックフォトで売れる写真を撮るコツ

さて、この章では実際にストックフォト上で写真素材を販売していくうえでやはり重要となる「どうしたら写真がよく売れるようになるのか」について、お話していこうと思います。

ぼくはストックフォトを2016年末頃にスタートしたので、この書籍の執筆時点でかれこれ2年間近く、ストックフォトを続けていることになります。

これだけ継続していると、どんな写真が承認されやすいか、そして売れやすいかというのが、経験上わかってくるようになりました。

## 必ずしも「アートな写真」は必要ではない！

写真の良し悪しは、どのように決まるのでしょうか？

こればかりは個人の好みがあるので一概には言い切れませんが、やはり「キレイな写真」や「アートな写真」の方が好まれる傾向にあることは間違いありません。

しかしながらストックフォトで販売する写真素材では、必ずしも芸術的な写真である必要はありません。

ストックフォトの利用者は（なるべくなら見栄えはキレイな方が良いにせよ）写真で表現したい「内容」を求めているわけですから、そのテーマに沿った写真を提供することができれば OK なのです。

テーマさえはっきりしていれば、それこそゴミの写真、散らかった部屋の写真ですら、写真素材となります。



とはいったものの、素材として「アートな写真」が求められている場合もあります。

利用者の求める写真が「幻想的な風景や1シーンを表した写真」であれば、それはやはり芸術的で、美しい写真が求められます。

美しい観光地や風景などを紹介する記事に使う写真であれば、やはりキレイな写真が望まれることでしょう。場合によっては、芸術的なセンスが問われることもあります。

要は、利用者がどんな写真を求めているのかによって、写真に求められるものも変わってきます。

スマホカメラの写真で勝負しようとした場合、一眼レフやミラーレスで撮影した写真のキレイさには到底太刀打ちできないのが現実です。

もちろん、前章のように見栄えよく加工することでその差を埋めることはできますが、それよりはスマホカメラの利点を活かす方向性で考えていくのが良いでしょう。

## よくダウンロードされる写真素材の傾向

これらを踏まえて、一般的によくダウンロードされる写真素材の傾向をリストアップしてみました。 これらのカテゴリでなければ売れない…ということではありませんが、ぜひ参考にしてみてください。

- ・伝えたいテーマ(コンセプト)がしっかりしている写真
- ・色合いがハッキリしている写真
- ・季節やイベントの写真 (シーズンが近づくにつれてよく売れる)
- ・人物の写真
- ・ライフスタイルに関する写真
- ・お金やビジネスに関する写真

やはりよく売れる、よくダウンロードされる写真素材は、その写真が表すテーマがハッキリしているものがほとんどです。

テーマとしてはライフスタイル、つまり生活に関する写真はよくダウンロードされます。

**運動、料理、仕事、家族、趣味、パーティ、バカンス…。**

こういった写真は基本中の基本ですね。



また、投資やお金、ビジネスに関する写真もよくダウンロードされます。

**通貨、株式、不動産、チャート、仕事場、会議の風景、ビジネス書類、パソコンやタブレットを操作している人物…。**

こうした写真も、ストックフォトの利用者が多く求めているものです。



「ライフスタイル」「お金」「ビジネス」…これらの共通点を見てみると、いずれも生きることに関係する一場面であることに気がきます。

こうしたテーマは実際のブログ記事やニュースとして取り扱われる頻度と可能性が高いため、自然と需要も高く、よくダウンロードされる…。ぼくはそう分析しています。

また、人物がメインになっているテーマ写真は、どのストックフォトサービスでも売れ線の写真素材です。

人物が何らかのアクションをしているシーンは、写真から表現したいことをもっとも端的に表しますから、やはりダウンロードされやすい傾向にあります。

身近(友達や家族)に良いモデルがいるなら、色んなポーズ、色んなテーマで写真を撮らせてもらって、それを写真素材として販売することで、ダウンロードされやすい写真素材を投稿できるはずですよ。

しかしもちろん、人物が大きく写り込んでいる場合は、2章でもご紹介したように使用許諾書(モデルリリース)の提出が必要です。

**「モデル本人の許可」「使用許諾書の提出」**この2つをクリアーするのが少々面倒くさい…というのが、人物メインの写真素材のネックでもあります。

(その点、ペットや動物を素材にするのはカンタンで良いかもしれませんが。使用許諾書を提出する必要がありませんから！)

**ちなみに個人的な経験からすると、風景写真は撮影がとてもカンタンである反面、それほど爆発的に売れることは少ない…というのが正直な印象です。**

もちろん、数を揃えればその中でも売れ線の写真は必ず出てきます。「風景写真だから売れない」というわけではありません。

実際、ぼくがメインに販売しているのは風景写真で、幅広い場所の風景を撮影・投稿していくにつれて日々のダウンロード数は増えていく傾向にあります。

しかしながら、風景写真は撮影がカンタンで手軽であるがゆえに、たくさんの方が風景写真をたくさん投稿しています。**そうすると、有名な観光地や場所の写真は、競合が多すぎて埋もれやすいという特徴もあります。**

ある意味、すでにストックフォト上でもっともありふれたテーマの写真素材が、風景写真です。撮影はとても簡単だし、まず挑戦するのに手っ取り早いテーマではありますが、必ずしも売れ線の写真になるわけではない…ということは、付け加えておきたいと思います。

**特にスマホカメラの場合はすでにお話したように、性能面で一眼レフやミラーレスに太刀打ちすることが難しいため、同じ対象・同じ風景・同じアングルで撮影されてしまうと、やはり分が悪いです。**

それらに打ち勝つには、やはり差別化が重要です。

単純な風景写真ではなく、そこに住む人々やその場所を旅行している人物を含めた写真にすると、コンセプトとテーマがハッキリするので、ダウンロードされやすくなります。

もちろん、ここでもハッキリと人物が写り込んでいる写真に関しては使用許諾書が必要です。

モデルリリースのような面倒事を避けたい場合は、ちょっとした小物を一緒に写してみるのもアイデアです。たとえば、旅行中の写真であれば、こんな小物が一緒に含まれているとコンセプトが際立ちます。

- ・ スーツケース
- ・ バックパック
- ・ サングラス
- ・ パスポート
- ・ スマートフォン
- ・ イヤフォンやヘッドフォン
- ・ その観光地の入場チケット

## どんなときでも撮影しよう

一眼レフやミラーレスに負けないスマホカメラの利点は、どんなときでも思った時にすぐ撮影できるという点にあります。

写真素材をストックしていくためには、まず兎にも角にもたくさん撮影することが重要です。

手始めに、このようなシーンで色んなものを撮影してみましょう。

- ・ 町中の風景が気に入ったら撮影
- ・ 料理やお菓子をつくったら撮影
- ・ ロゴや看板を見つけたら撮影
- ・ 机の上の小物類を撮影
- ・ 家族やペットの何気ない1シーンを撮影
- ・ 普段と違う天候だったら撮影

撮影する頻度が多ければ多いほど、弾の数が増えることになり、これらの写真が素材として販売できる可能性が高まります。

文字通り「何気ない日常の写真」でさえも、前章で紹介している写真素材としての基準を満たしていれば販売することが可能です。

スマホカメラでストックフォトに挑戦するメリットは、このいつでも好きな時に撮影できるという点です。

スマホは、誰でもいつも持ち歩いているもの。通勤中でも、仕事中でも、旅行中でも、家の中でも、遊んでいるときも、眠る前にも、いつでも肌身離さず持ち歩いているはずです。

そして、そのいつも持ち歩いているアイテムでいともカンタンにできることが、写真を撮影するということなのです。

常に持ち歩くことが大変であり、「いざ撮影するぞ！」と構えないといけない一眼レフ、ミラーレスと違って、スマホカメラは日常に溶け込んでいつでも使えるわけです。

それこそ、ポケットからスマホを取り出してパシャリとするまで、ものの数秒で完了です。

ということで、日常生活の中で「これは写真素材になりそうだ」と思ったら、すぐさまパシャリと撮影してみましょう。

これを日常的に続けていくことで、自然と素材が貯まっていくはずです。

もちろん、特定の個人、特定の場所や建物の場合は許可を得ることが必要となるので注意が必要ですが、自然の風景や小物類、特定の建物に限定されない町中の風景などであれば、それらを写真素材とすることが可能です。

## アイデア次第で写真素材は無限に生み出せる

ストックフォトの世界は、アイデア写真同士のコンペティション(競技会)のようなものです。

他の人がまだ考えたことのない、ユニークなアイデア写真を投稿することができれば、それはストックフォトの中での唯一無二の写真素材となり、そして売れ線へと変わっていきます。

(しかし、ユニークさもあつつつ、利用者の需要も満たしている写真である必要がありますが…)

たとえば、ストックフォト上にはこんな写真が存在します。(エディトリアル素材含む)

- ・パソコンやスマホのアプリ画面を撮影した写真
- ・机の上のパソコンや書類などを真上から撮影した写真
- ・特定の都市・国の地図上にピンを指した写真
- ・観光名所をバックに、手に持った入場チケットを重ね合わせた写真
- ・風景写真にメッセージを追加した写真
- ・自作した料理・お菓子を撮影した写真
- ・アルファベットのブロックを組み合わせてメッセージにした写真
- ・ノートにメッセージを書いて、それを撮影した写真
- ・すでに撮影済みの写真に、レトロなエフェクトや光効果を追加して別の素材にした写真

これらは、アイデア次第でいくらでも生み出せる素材であるといえます。

アルファベットのブロックを組み合わせてメッセージにした写真などはその典型で、26つのアルファベットを自由に組み合わせることで全く異なるコンセプト写真を撮影することができます。

組み合わせは無限大なので、このアルファベットのブロック一式さえあれば、家に居ながらにして、異なるテーマの写真素材をたくさん生み出すということも可能です。

こちらの画像は「FUTURE」という単語のブロックの組み合わせですが、下に小銭を積み上げて右肩上がりに少しずつ高くなっていくように画面が構成されています。

これによって「**お金をコツコツと貯めることで未来(FUTURE)のための蓄えとする**」というテーマが表現されている…という一例です。



もちろん、ここで挙げたもの以外にもまだまだ写真素材のアイデアは存在します。

先ほどリストアップした「よくダウンロードされる写真素材の傾向」とあわせて、なにか面白いアイデアが実現できないかどうか、色々試してみてくださいませ。

切り口を変えることで、唯一無二のものをつくりだすことができ、そしてそれが販売できるとこともまた、ストックフォトの魅力の1つです！

## どんなものが売れるのか、他の投稿者を参考にしてみる

それでも、時折アイデアが浮かばなくなることも、やはりありますよね。

アイデアが浮かばなくなったときは、他の投稿者の写真を参考にしてみるというのも1つの手です。

ストックフォトでは、各写真素材には投稿者の名前が書いてあり、投稿者が今までにアップロードした写真の一覧を「ポートフォリオ」という形で見ることができます。

いろいろな素材が求められているストックフォトとはいえ、やはり売れやすい写真と、その傾向があります。

売れ線の写真にはやはりある程度の法則がありますので、どんな写真が売れるのか、そしてどんなアイデアがあるのか、他の投稿者の写真を参考にしてみましょう。

世界中にさまざまな投稿者が居ます。今まで自分の考えつかなかったアイデアで写真素材を投稿している人もいて、きっといい刺激になるはずですよ。

**ストックフォトの面白いところは、同じテーマ・対象の写真を撮ったとしても完全な「パクリ」にはならない点です。**

写真を素材として考えると、同じテーマ・対象であったとしても、それぞれが別々の写真素材として作り出すことが可能です。

写真ですから、撮影したものは必ずどこかが微妙に異なってきます。同じテーマであっても完全に同じ素材になることは(ほぼ)ありませんので、他の人を参考にして題材を決めたとしても、最終的にはオリジナルの写真素材になります。

とはいえ、ほとんど似通った写真素材同士では埋もれてしまいますので、本当に売りたいということであれば、やはり自分オリジナルの切り口を加えていく必要があります。

その切り口は、色々なものが考えられます。

たとえば構図やアングルを変えることも1つの切り口です。

- ・ 真上からの撮影
- ・ 斜めからの撮影
- ・ 拡大撮影
- ・ 魚眼レンズでの撮影 (スマホカメラの場合でも、外付けのレンズを装着することで魚眼撮影することが可能！)

風景も、フィルター加工することで他の人とは違う雰囲気にする事が可能です。

- ・ 鮮やかな加工
- ・ レトロ・ビンテージなフィルター加工
- ・ HDR
- ・ チルトシフト加工 (風景がミニチュアのように見える)

小物を撮影するのでも、その小物を置くテーブルや壁の色が異なれば全体の雰囲気も変わるので切り口は変わりますよね。

- ・ 木製テーブルか、金属のテーブルか
- ・ 白い壁か、カラフルな壁紙の壁か
- ・ 屋内での撮影か、屋外での撮影か
- ・ テーブルに置いて撮影するか、手に持って撮影するか
- ・ メインの小物にピントを合わせる、全体にピントを合わせる（特定の小物をフォーカスするか、雰囲気全体をフォーカスするか）
- ・ 小物に向けてライティングするか、それとも自然なライティングで撮影するか

こうしたちょっとしたアレンジを加えていくことで、写真素材として別物に変えることができます。

自分がどんな写真が撮れるか、そしてどんな写真がよくダウンロードされるかは、色々と試行錯誤を繰り返してみないことにはわかりません。

スマホカメラでの撮影は思った時に撮影できるのが利点ですので、その試行錯誤をするためにはやはり適したツールである！ と言えるでしょう。



## おわりに

正直に白状すると、ストックフォトは爆発的に稼げる副業ではありません。

1枚1枚が生み出す報酬額は小さいので、コツコツと色々な種類の写真素材をストックしていく必要があります。

ストックフォトは思っていたよりも想像以上に、地味な作業の連続です。

**しかし、ストックフォトの面白さの本質は「趣味で稼げる」というところにあります。**

写真を撮影することを趣味としている人は、世界中にたくさん居ます。

撮影そのものが好きな人もいれば、その写真を誰かに見てもらうことが好きだという人もいるでしょう。

写真撮影は、趣味の大きな1ジャンルです。

かつて、写真でお金を稼ぐということは、限られた人にしかできないことでした。

カメラマンとして一定の評価を得て、そこからはじめて写真を新聞社やメディアに買ってもらえる…。 専業として、本格的に挑まなければ写真撮影でお金を稼ぐことなど、不可能だったのです。

しかし、ストックフォトという仕組みが広く普及してからは、どんな人でも仕事の片手間に、生活の空き時間に、自分の撮影した写真を世界中で販売することができるようになったのです。

そして、その趣味からお金を稼ぐことが、カンタンにできるようになりました。

趣味の延長でお金が稼げる！ これは画期的なことであり、そうした収益化の方法が現代はどんどんと広がっています。

ぼく自身、ストックフォトをかれこれ2年間継続できているのは、収益が発生することは当たり前ながら、やはり「**やっていて楽しいから**」に他なりません。

「イタリアから東京の建物の写真がダウンロードされた！」とか「秋のシーズンが近づいたら紅葉の山の写真がよく売れるようになった！」とか、そういった世界中の反応を見るのが、ぼくはとても好きなのです。

これは、Instagramで「いいね！」をもらったのと同じような感覚なのかもしれません。違うのは、これがビジネスも兼ねていて、自分自身の収益にもなる！ という点です。

「いいね！」をもらうだけでも楽しいかもしれませんが、それに加えてお金も発生する方が、一番楽しいとは思いませんか？

### 「楽しみながら稼ぐ」

これがもっとも重要だとぼくは思います。

今回、この書籍を書いた理由はこの「ストックフォト」という方法について、もっとたくさんの人に広めていきたいという考えがあったからです。

スマホカメラでも写真で稼ぐことができる(実際できた)という事実を知らない人が、まだまだたくさん居ます。

「カメラでお金を稼ぐ」という書籍はいくつか出ていますが、スマホカメラに特化した本はまだ存在しなかったのです。 それならいっそのこと、ぼくが書いてしまおうかな！

…という顛末で、この書籍は生まれたのでした。

さて、ここまで読んでいただいたら、あとはお手元のスマホで実践あるのみです！

4章でもお話したように、まずは日常のなかでたくさんの写真を撮ってみましょう。

はじめはInstagramに趣味として写真を投稿してみるだけでも、キッカケとしてはいいでしょう。

色んな写真を撮影しているうちに、写真素材の候補となる写真も、増えていくはずですよ。

日常の風景やシーンを切り取って、自分のコンテンツとしていく。これができれば、写真を撮ることはもちろん、日常生活もきっと面白くなっていくはずですよ。

**楽しみながら稼ぐ、次世代の副業をはじめてみましょう！**

以上、ご参考までに。

それでは！

## 掲載写真クレジット

Kudla / Shutterstock

Sean Pavone / Shutterstock

Rido / Shutterstock

cosmaa / Shutterstock

GraphicStore / Shutterstock

Mascha Tace / Shutterstock

Monarexx / Shutterstock

slyellow / Shutterstock

ANURAK PONGPATIMET / Shutterstock

enciktepstudio / Shutterstock

Alena Ozerova / Shutterstock

UfaBizPhoto / Shutterstock

Photoshop Express

Snapseed

Instagram

Shutterstock Contributor

## 【著者】 20代怠け者

1987年生まれ。

IT系専門学校を卒業し、同じくIT系企業へ就職。サーバ・インフラ系技術をメインに8年間勤務。

ブログからの不労所得をもとに2015年に独立し、以降フリーランスとして活動をはじめ。

ワーキングホリデーを利用してニュージーランドで8ヶ月間の車旅をしながら各地を撮影するなど、東南アジアやオセアニアを中心に精力的に海外を旅しながら世界各国で自由に働きつつ、ブログを運営している。

近年ではブログ収益化のセミナーや個別コンサルタントを行うなど、不労所得を得て独立したいという同年代の人たちへのアドバイスや支援活動なども行う。

2017年3月には翔泳社から、投資信託の入門書「[超ど素人がはじめる投資信託](#)」を出版。

つづいて2018年には、Amazonにて続々と電子書籍を出版中。

- ・ [低収入でも投資するための怠け者流・節約術](#)
- ・ [なんでもない一般人が不労所得を得るための17の原則](#)
- ・ [ニュージーランド車旅 ワーホリ紀行](#)

ブロガーとして活動する以外にも、投資家、カメラマン、DJ、YouTuber など、常に新

たな不労所得を手にするために幅広いジャンルで活動中。

## 20代怠け者の運営する2つのブログとポートフォリオ

Tipstour

<http://tipstour.net/>

怠け者の20代が投資やってみたブログ

<http://20sinvest.com/>

筆者の Shutterstock ポートフォリオ

<https://www.shutterstock.com/g/slyellow2?language=ja>

※今回ご紹介したストックフォトについてのノウハウやテクニックを「**怠け者の20代が投資やってみたブログ**」にて更に詳しくご紹介しています。ご興味あれば、ぜひチェックしてみてくださいませ。